

タスク
考える視点
相手を納得させる音ハロ

質問(反対意見)に対し
具体例を言えること
全員が相手を納得
三つ言える。

課題化の際に、「考える視点」と「タスク」を提示し、授業の筋道とゴールを明確にしています。(焦点化)

単位時間の流れを提示し、見通しがもてる工夫をしています。(可視化)

国語の学習メニュー

- 音読練習
- 今日のかだい
- ビデオレター
- 原こうを完成させる
- 練習する

毎時間の振り返りの視点を提示し、学習状況の見届けをしています。(共有化)

読みかき
話しかき
書きかき

振り返り

実態に応じて、子ども達が生き生きと活動するための学習活動を考えられています。(動作化)



導入では、パワーポイントを活用し、関心を高めるようにしています。(視覚化)



マイ教科書に書き込んだり、付箋をつけたりして、思考を深められる道具を活用しています。



学び合ったことを全員が説明できるようにします。

確かな言葉で、豊かに伝え合う

国語科授業



実態に応じて、本時の活動に興味・関心をもち、課題追究に意欲がもてるように、マジックボックスやパネルシアターなどの具体物を活用したひきつける導入の工夫をしています。

